All rights reserved. HC Asset Management co.,ltd. 2006

HC資産運用セミナーvol.27

資産の選択と配分

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者　関東財務局長 （金商）第430号
加入協会　一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

https://www.fromhc.com

2025.9.30

概要

分類し、選択し、配分する
分類以前の問題として、資産とは何かという外縁の確定が先決事項になる。配分には選択が先行し、選択には分類が先行し、分類には範囲の確定が先行する、資産配分をめぐる論議は、常に、原点への遡及を意図している。

資産運用の第二歩としての投資対象の選択
本源的収益の魅力度（量と質）を選択基準とするが、本源的収益の源泉が、相互に本質的に異なるように、複数の投資対象を選択する必要がある。この本源的収益の源泉の分散こそが、本来の分散投資の基本である。

資産運用の第三歩としての投資対象の配分
本源的収益の魅力度（量と質）において、より有利な投資の機会（バリュー）を発見して傾斜配分することが投資の第三歩である。当然に、価格が価値に向かって調整していく過程で、追加的な収益が期待される。

地の果てまで投資の機会を見つけに行く努力
世界の金融市場では、概ね価値と価格が一致しているとしても、投資の世界は広く、世界のどこかに、必ず、投資の機会（バリュー）はある。その機会を発見しに行く努力こそが、資産運用の基本である。

資産運用の第四歩としての売却規律（投資対象の入れ替え）
投資機会の消滅（バリューの解消）により資産を再配分するのが投資の第四歩である。投資の機会が消滅したら、その資産についての投資の目的、換言すれば、その資産の機能も消滅したことになり、一旦は投資回収するのが原則である。これを、売却の規律という。売却すれば、必ず、その時点で、新たなる投資の機会を発掘し、再投資しなければならない。

用語集もご参照ください https://www.fromhc.com/glossary/

All rights reserved. HC ASSET MANAGEMENT CO.,LTD. 2006

投資対象の分類・選択・配分

⇒ 論理的に、投資対象の配分（アロケーション）には、選択（セレクション）が先行し、選択には、分類が先行する

⇒ 分類は、選択の都合に応じてなされるべきであるから、投資対象の選択基準こそ、原点にあるべきものである

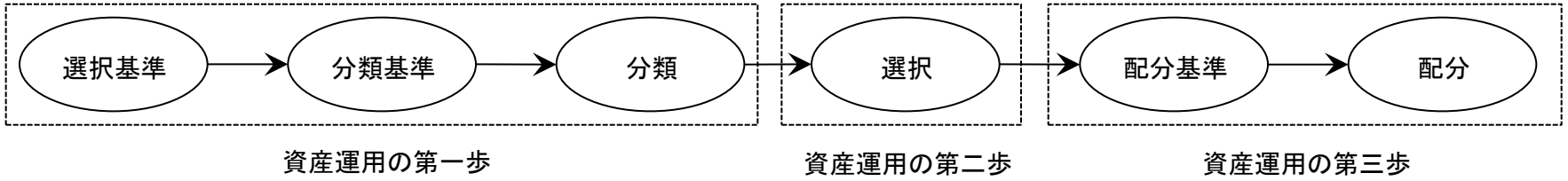
⇒ 投資対象を分類する軸を厳密にしない限り、選択はできない。分類と定義を厳密化していけば、投資対象は、資産というよりも、戦略となる

⇒ 投資対象の分類・定義と選択基準こそが、基本的な運用方針であり、同時に、運用会社の選択基準ともなる

理屈上は、

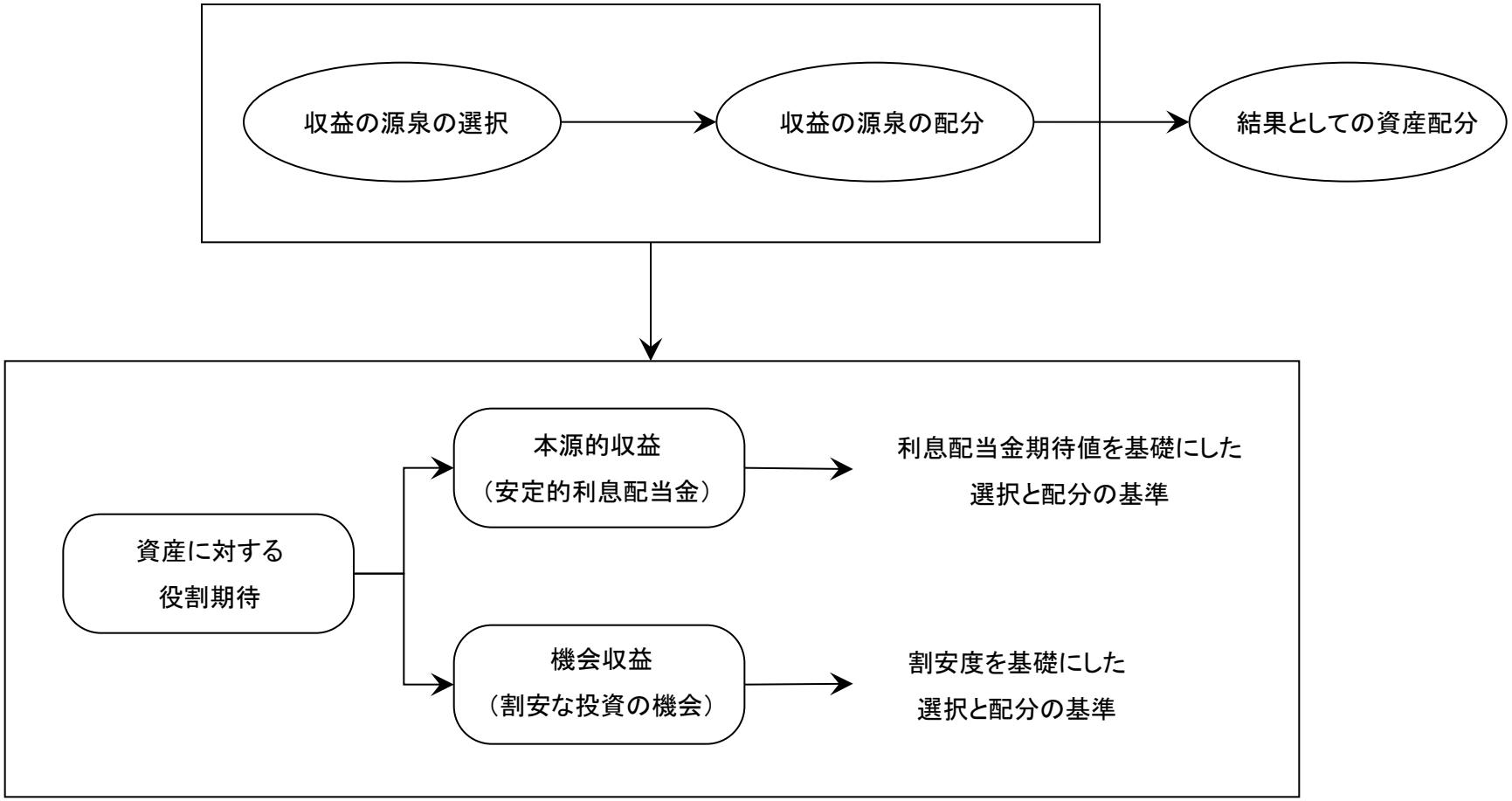
現実には、分類は、選択の都合に応じてなされるものだから、

選択されたものに対する配分の基準は、選択の基準とは異なり得るから、



All rights reserved. HC ASSET MANAGEMENT CO.,LTD. 2006

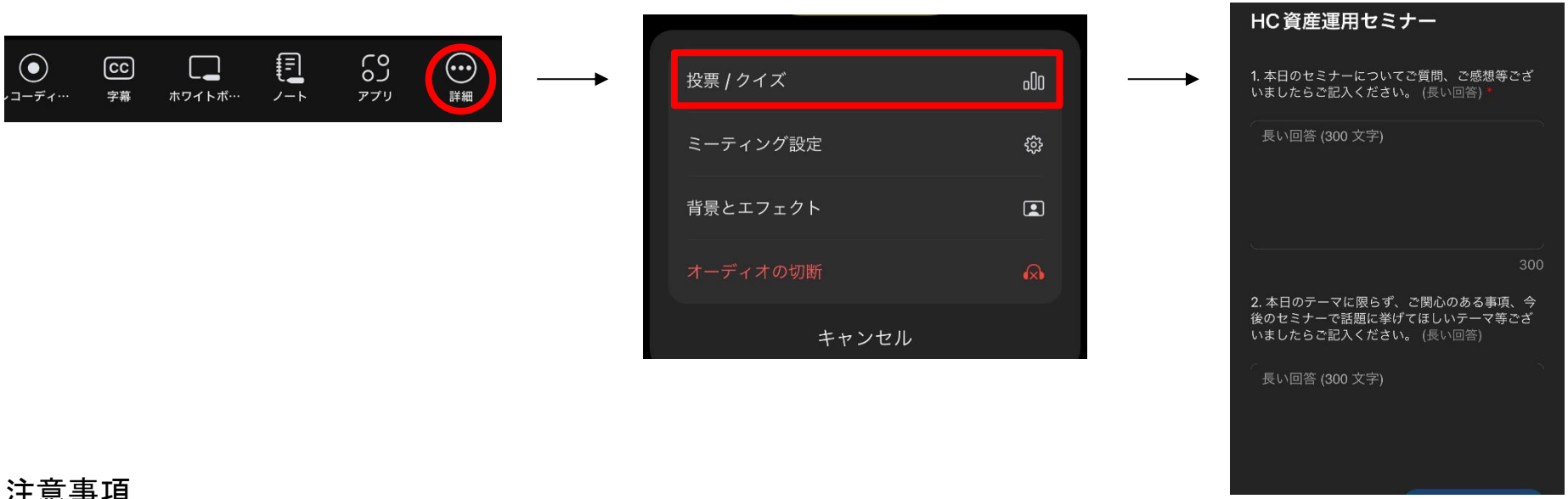
収益の源泉の選択と配分



All rights reserved. HC Asset Management co.,ltd. 2006

講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法：各セミナー講演途上でにZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。

All rights reserved. HC ASSET MANAGEMENT CO.,LTD. 2006